



客 斜め右寄

り前に、右手で男性或は女性を表わしてから、掌を上向けた両手で受けるようにして「さあ、

どうぞ」とばかり招じ入れる身振り。(両手を左胸脇へ引き寄せる)

キャッチャー(捕手)前方から飛んで来る球を受け取るように、前に出した右手掌(球)を引き寄せて、左手(ミット)の掌の中におさめる。——男性。

給金 親指と人差指で輪にして金銭を表わした手を額の上に頂いて、胸もとに引き寄せ

る。
休憩 両手の掌を上に向けて、夫々左右の膝の上に置く。手を休める形。

給仕 下腹部の前で、共に指頭を斜め下に向け掌を向い合わせた両手をV字形に指頭で合わせて、男性或は女性を示す。上司や来客の前に、かしまって出る時の両手の姿態を表わしたものの。

急に 右手の掌を下に向け指頭を前方にさした人差指を右から左へ直線を引いて行く(時の流れ)、その途中急にくると人差指の指頭を上にはさし上げる(従って掌は内側になる)

清い 「美しい」と同じ手まね。

今日 「現在」と同じ手まね。

教員 教える人女性(或は人々)

兄弟 肉親を意味する前提があつて、(この場合これを略してもよい)指頭を上にはさした両手の中指を胸の前の位置に平行にならべ、何づれかを少し下に位置させる。下に位置させた方が弟と云う心得。則ち兄と弟を同

時に表わすわけである。

許可 かまわない——捺印



協会 左右の

人差指をまげて互に左右に掛け結ぶ。そして、両手を左右に引き合う。連続すると云うこと。

「連盟」「同盟」ともなる。

教会 キリスト—建物。

協議 「打合せ」(相談)と同じ手まね。

行儀 (イ)「行儀よい」「行儀よくしなさい」

五指の指頭を上にした両手の掌を向い合わせ顔を左右に囲み、そのまま両手を少し前に出す。馬車馬の眼かくしを表わしたもので、よそ見しないで行儀のよいこと。(ロ)「行儀悪い」。行儀——適する——ない。

教室 教える(或は習う)——部屋(室)

教授 大学—先生

競走 「運動」の(イ)の手まねをして次に指頭を上にした両手の親指を対立させ、交互に前に出しては戻す。前になり後になりする競走を表わしたものの。

去年 年—つ—過去

行列 「遠足」と同じ要領で表わす。

嫌い 顎の下で上にさした親指と人差指の

指頭を一旦合せてから勢よく両指を開く。

「好き」の手まねの逆にしたもの。

気楽 休憩——楽しい。

錐 両手の掌で錐の柄を挟んで、錐をもむ真似をすればよい。

キリスト(キリスト教) 両手の人差指を十字に交叉する。十字架を表わす。

器量(技量)「腕利き」(腕前)と同じ手まね。議論 指頭を左にした右手の人差指と指